

アイデアフォー講演会

乳がん薬物療法との付き合い方ー2016 ～腫瘍内科医と考える、最適な治療の選択～

乳がんの治療には、手術・放射線・薬物の3つがあります。中でも、薬物治療は手術後の再発予防として使われるだけでなく、再発・転移した場合は主な治療として使い続けることになり、長い付き合いになることも珍しくはありません。

その薬物療法の専門医である高野利実氏には、2006年にも同じテーマで講演をお願いしています（当時は東京共済病院腫瘍内科、現在は虎の門病院 臨床腫瘍科）。患者自身が何を目標として治療するのかを自覚して、その薬の効果と副作用を比較、そのうえで納得して治療を受ける、あるいは受けないという選択をするための考え方の筋道をお話いただきました。

10年たった現在、抗がん剤、ホルモン療法剤、化学療法の副作用を軽減する薬剤、骨転移に使用する薬剤、分子標的薬と乳がん治療に使う薬はさらに増えています。ハーセプチンしかなかった分子標的薬も、今は複数になりました。選択肢がありすぎて、どう判断していいか迷っている患者もたくさんいます。

最新の薬の正確な情報と、それを吟味して判断するための考え方を、今再び高野氏に話していただきます。皆様のご参加をお待ちしています。

高野利実氏

1972年 東京都生まれ
1998年 東京大学医学部卒業後、東京大学医学部附属病院
2000年 東京共済病院呼吸器科
2002年 国立がんセンター中央病院内科レジデント
2005年 東京共済病院腫瘍内科
2008年 帝京大学医学部腫瘍内科講師
2010年 虎の門病院臨床腫瘍科部長

専門は乳癌を中心としたがんの薬物療法で、治験/臨床試験に数多く関わる。
近著：『ハイリスクがん患者の化学療法ナビゲーター 誰も教えてくれなかった合併症があるときの抗がん剤の使い方』（メジカルビュー社、2013年）
『がんとともに、自分らしく生きるー希望をもって、がんと向き合う「HBM」のすすめー』（きずな出版、2016年）



日時：2016年8月21日（日）13：30～16：30（受付13：10～）

場所：東京ウィメンズプラザ 視聴覚室

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67 TEL03-5467-1711

交通（東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線 表参道駅B2出口 徒歩7分）

講師：高野利実氏（虎の門病院臨床腫瘍科部長）

定員：100人

参加費：一般1000円 会員500円

申込み：WEB申込みフォーム

<http://kokucheese.com/event/index/402997/>

FAX 0476-91-0190

1. お名前 2. 連絡先（FAX番号） 3. 会員の有無
をご記入ください。

問合せ：TEL：03-3682-7906（火～水：21時～23時）

協力：日本対がん協会

主催：アイデアフォー

〒136-007 東京都江東区亀戸2-30-6 1F



★QRコード 携帯・
スマホからアクセス

